

別表3:法令に基づく毎日検査

1. 検査場所 :蛇口(各浄水場末端給水栓)3ヶ所
2. 検査項目 :4項目
3. 検査頻度 :1日1回

	検査項目	評価	検査計画頻度
1	色	異常なし	365日/年
2	濁り	異常なし	365日/年
3	異臭味	異常なし	365日/年
4	消毒の残留効果 (残留塩素)	0.1mg/L以上	365日/年

別表4:水質管理目標設定項目

	水質管理目標設定項目	目標値mg/L 以下	水 源				備考
			ダム水		河川水		
			原水	浄水	原水	浄水	
			屋嘉浄水場		喜瀬武原浄水場 伊芸浄水場		
1	アンチモン及びその化合物	0.02	○	○	○	○	
2	ウラン及びその化合物	0.002 *	—	—	○	○	
3	ニッケル及びその化合物	0.02	—	○	—	○	資機材、薬品の観点から
4	削除	—	—	—	—	—	
5	1,2-ジクロロエタン	0.004	—	—	—	—	
6	削除	—	—	—	—	—	
7	削除	—	—	—	—	—	
8	トルエン	0.4	—	—	—	—	
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08	○	○	○	○	
10	亜塩素酸	0.6	—	—	—	—	塩素剤として使用していない
11	削除	—	—	—	—	—	
12	二酸化炭素	0.6	—	—	—	—	塩素剤として使用していない
13	ジクロロアセトニトリル	0.01	—	○	—	○	消毒副生成物等の観点から
14	抱水クロラール	0.02 *	—	○	—	○	
15	農薬類	**					検査項目は別表5に示す
16	残留塩素	1	—	—	—	—	毎日検査と重複する
17	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10-100	—	—	—	—	基準項目検査と重複する
18	マンガン及びその化合物	0.01	—	—	—	—	
19	遊離炭酸	20	○	○	○	○	
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3	○	○	○	○	
21	メチルtertブチルエーテル	0.02	—	—	—	—	
22	有機物等(KMnO ⁴ 消費量)	3	○	○	○	○	
23	臭気強度(TON)	3TON	○	○	○	○	
24	蒸発残留物	30-200	—	—	—	—	基準項目検査と重複する
25	濁度	1度	—	—	—	—	
26	pH値	7.5程度	—	—	—	—	
27	腐食性(ランゲリア指数)	-1～10	○	○	○	○	
28	従属栄養細菌	2000個/ml	○	○	○	○	検査頻度 年4回
29	1,1-ジクロロエチレン	0.1	—	—	—	—	
30	アルミニウム及びその化合物	0.1	—	—	—	—	基準項目検査と重複する
31	ペルフルオロオクタン sulfon 酸(PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	0.00005 *	○	○	○	○	必要に応じて追加検査あり
	検査項目合計		9	12	10	13	検査頻度 年1回 (従属栄養細菌のみ年4回)
	検査ヶ所		1	1	1	1	

* :暫定値

** :各農薬の検出値と目標値との比の総和で1以下(単位なし)

○ :検査対象項目

— :検査対象から除く

別表5:その他、本町が水質管理上必要とする検査項目

	検査項目	ダム水	河川水	地下水	浄水	
1	生物化学的酸素要求量(BOD)	○	○			年1回
2	化学的酸素要求量(COD)	○	○			
3	浮遊物質(SS)	○	○			
4	全窒素(T-N)	○				
5	全りん(T-P)	○				
6	侵食性遊離炭酸			○		
7	嫌気性芽胞菌	○ 年4回	○ 年4回	○ 年3回		
8	クリプトスポリジウム	○ 年2回	○ 年2回	○ 年1回	○ 年1回	
9	ジアルジア	○ 年2回	○ 年2回	○ 年1回	○ 年1回	
10	ペルフルオロヘキサンスルホン酸(PFHxS)	○ 年1回	○ 年1回	○ 年1回	○ 年1回	
	検査項目合計	9	7	5	3	
	検査箇所数	1	1	3	5	
	浄水場名	屋 嘉	喜瀬武原	中並金 川里武	各浄水場 末端給水 栓	

別表6: 基準項目(51項目)

	項目名	水質基準値	検査方法
1	一般細菌	100個/ml以下	標準寒天培地法
2	大腸菌	検出されないこと	特定酵素基質培地法
3	カドミウム及びその化合物	0.003mg/l以下	ICP-MS法
4	水銀及びその化合物	0.0005mg/l以下	還元酸化-原子吸光光度法
5	セレン及びその化合物	0.01mg/l以下	ICP-MS法
6	鉛及びその化合物	0.01mg/l以下	ICP-MS法
7	ヒ素及びその化合物	0.01mg/l以下	ICP-MS法
8	六価クロム化合物	0.02mg/l以下	ICP-MS法
9	亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陰イオン)法
10	シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/l以下	イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光光度法
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陰イオン)法
12	フッ素及びその化合物	0.8mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陰イオン)法
13	ホウ素及びその化合物	1.0mg/l以下	ICP-MS法
14	四塩化炭素	0.002mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
15	1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
17	ジクロロメタン	0.02mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
18	テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
19	トリクロロエチレン	0.01mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
20	ベンゼン	0.01mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
21	塩素酸	0.06 mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陰イオン)法
22	クロロ酢酸	0.02mg/l以下	液体クロマトグラフ-質量分析計による一斉分析法
23	クロロホルム	0.06mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
24	ジクロロ酢酸	0.03mg/l以下	液体クロマトグラフ-質量分析計による一斉分析法
25	ジブロモクロロメタン	0.1mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
26	臭素酸	0.01mg/l以下	液体クロマトグラフ-質量分析法
27	総トリハロメタン	0.1mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
28	トリクロロ酢酸	0.03mg/l以下	液体クロマトグラフ-質量分析計による一斉分析法
29	ブロモジクロロメタン	0.03mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
30	ブロモホルム	0.09mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
31	ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	誘導体化-液体クロマトグラフ法
32	亜鉛及びその化合物	1.0mg/l以下	ICP-MS法
33	アルミニウム及びその化合物	0.2mg/l以下	ICP-MS法
34	鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	ICP-MS法
35	銅及びその化合物	1.0mg/l以下	ICP-MS法
36	ナトリウム及びその化合物	200mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陽イオン)法
37	マンガン及びその化合物	0.05mg/l以下	ICP-MS法
38	塩化物イオン	200mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陰イオン)法
39	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	300mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陽イオン)法
40	蒸発残留物	500mg/l以下	重量法
41	陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	固相抽出-高速液体クロマトグラフ法
42	ジェオスミン	0.00001mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
43	2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
44	非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	固相抽出-高速液体クロマトグラフ法
45	フェノール類	0.005mg/l以下	固相抽出-誘導体化-GC-MS法
46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/l以下	全有機炭素計測定法
47	pH値	5.8以上8.6以下	ガラス電極法
48	味	異常でないこと	官能法
49	臭気	異常でないこと	官能法
50	色度	5度以下	透過光測定法
51	濁度	2度以下	透過光測定法、積分球式光電光度法

別表7:水質管理目標設定項目(27項目)

	項 目	目 標 値	検 査 方 法
1	アンチモン及びその化合物	0.02mg/l以下	ICP-MS法
2	ウラン及びその化合物	0.002mg/l以下(暫定)	ICP-MS法
3	ニッケル及びその化合物	0.02mg/l以下	ICP-MS法
4	削除	削除	削除
5	1,2-ジクロロエタン	0.004mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
6	削除	削除	削除
7	削除	削除	削除
8	トルエン	0.4mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08mg/l以下	溶媒抽出-GC-MS法
10	亜塩素酸	0.6mg/l以下	イオンクロマトグラフ法
11	削除	削除	削除
12	二酸化塩素	0.6mg/l以下	イオンクロマトグラフ法
13	ジクロロアセトニトリル	0.01mg/l以下(暫定)	溶媒抽出-GC-MS法
14	抱水クロラル	0.02mg/l以下(暫定)	溶媒抽出-GC-MS法
15	農薬類	検出値と目標値の比の和として、1以下	農薬ごとに定められた方法による
16	残留塩素	1mg/l以下	ジエチル-p-フェニレンジアミン法、電流法、吸光光度法
17	カルシウム・マグネシウム等(硬度)	10mg/l以上100mg/l以下	イオンクロマトグラフ法
18	マンガン及びその化合物	0.01mg/l以下	ICP-MS法
19	遊離炭酸	20mg/l以下	滴定法
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
21	メチル-tert-ブチルエーテル	0.02mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
22	有機物等 (過マンガン酸カリウム消費量)	3mg/l以下	滴定法
23	臭気強度(TON)	3以下	官能法
24	蒸発残留物	30mg/l以上200mg/l以下	重量法
25	濁度	1度以下	透過光測定法、積分球式光電光度法
26	pH値	7.5程度	ガラス電極法
27	腐食性(ランゲリア指数)	-1程度以上とし、極力0に近づける	計算法
28	従属栄養細菌	2,000個/ml以下(暫定)	R2A寒天培地法
29	1,1-ジクロロエチレン	0.1mg/l以下	パージ・トラップ-GC-MS法
30	アルミニウム及びその化合物	0.1mg/l以下	ICP-MS法
31	ペルフルオロオクタンサルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	0.00005mg/l以下(暫定)	液体クロマトグラフ-質量分析法